

ディープラーニングを事業に活かすための知識を測る
「G 検定 (ジェネラリスト検定) 2019 #3」 結果発表
～今回 4,652 名が合格し、累計 14,523 名のジェネラリスト人材が誕生～

ディープラーニングを中心とする技術による日本の産業競争力の向上を目指す「日本ディープラーニング協会」(理事長:松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 教授、英称:Japan Deep Learning Association、以下 JDLA) は、2019年 第3回 ジェネラリスト検定「JDLA Deep Learning for GENERAL 2019 #3」(以下 G 検定) を 11月9日(土) に実施いたしました。



今回の申込者数は 6,786 名 (G 検定 2019 #2 : 5,387 名)、受験者数は 6,580 名 (G 検定 2019 #2 : 5,143 名) で、そのうち合格者数は 4,652 名 (G 検定 2019 #2 : 3,672 名) で、受験者数に対する合格率は 70.70% でした。過去 6 回の実施を経て G 検定の累計受験者数は 21,275 名、累計合格者数は 14,523 名となりました。

今回の受験者の年齢層は 10 代から 70 代にわたり、20 代と 30 代で全体の約 59.7% を占めています。業種では情報処理・提供サービス業とソフトウェア業で全体の約 43.6% を占め、製造業の約 13.6%、運輸・通信業の約 11.8% が続きました。そのほか、金融・保険業、不動産業、サービス業から学生まで、幅広い属性の方が G 検定を受験されました。

また、役職では課長職以上の方が全体の約 19.7% を占め、一般層のみならず、管理職層の方々も数多く G 検定合格を目指しています。

なお、2020 年は 3 月 14 日 (土)、7 月 4 日 (土)、11 月 7 日 (土) の 3 回、実施を予定しております。

<開催概要>

開催回	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2017	1,500	1,448	823	56.84%
2018 #1	2,047	1,988	1,136	57.14%
2018 #2	2,745	2,680	1,740	64.93%
2019 #1	3,541	3,436	2,500	72.76%
2019 #2	5,387	5,143	3,672	71.40%
2019 #3	6,786	6,580	4,652	70.70%
累計	22,006	21,275	14,523	68.26%

<年代別の受験者数>

年代	受験者数	全体の割合
10代	54	0.82%
20代	1,902	28.91%
30代	2,027	30.81%
40代	1,703	25.88%
50代	788	11.98%
60代	92	1.40%
70代	4	0.06%
不明	10	0.15%

<業種別の受験者数（複数回答）>

業種	受験者数	全体の割合	業種	受験者数	全体の割合
ソフトウェア業	1,248	18.97%	調査業、広告業	78	1.19%
情報処理・提供サービス業	1,621	24.64%	医療・福祉業	48	0.73%
コンピュータ及び周辺機器製造業または販売業	174	2.64%	教育(学校、研究機関)	38	0.58%
農林業、漁業、鉱業	15	0.23%	官公庁、公益団体	77	1.17%
建設業	81	1.23%	大学院生	109	1.66%
製造業	894	13.59%	大学生	195	2.96%
電気・ガス・熱供給・水道業	42	0.64%	短大生	0	0.00%
運輸・通信業	778	11.82%	専門学校生	42	0.64%
卸売・小売業、飲食店	177	2.69%	高校生	10	0.15%
金融・保険業、不動産業	240	3.65%	無職、その他	150	2.28%
サービス業	221	3.36%	不明	342	5.20%

<職種別の受験者数>

職種	受験者数	全体の割合
情報システム・システム企画	1,748	26.57%
研究・開発	1,479	22.48%
企画・調査・マーケティング	549	8.34%
営業・販売	607	9.22%
経営・社業全般	187	2.84%
生産・製造	411	6.25%
経営企画	142	2.16%
総務・経理・人事	151	2.29%
学生	412	6.26%
その他	870	13.22%
未回答	24	0.36%

<役職別の受験者数>

役職	受験者数	全体の割合
一般社員級	3,364	51.12%
係長・主任級	1,290	19.60%
課長級	769	11.69%
部長級	349	5.30%
役員・経営者級	180	2.74%
学生	412	6.26%
その他	192	2.92%
未回答	24	0.36%

<JDLA 資格試験について>

JDLA では、ディープラーニングに関する知識を有し、「事業活用する人材（ジェネラリスト）」と、「ディープラーニングを実装する人材（エンジニア）」の育成を目指しております。

JDLA 資格試験の合格者には認定ロゴと合格証の配付のほか、合格者コミュニティ「CDLE (Community of Deep Learning Evangelists)」へご招待しています。

■ジェネラリスト・・・

「ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定して事業応用する能力を持つ人材」と定義し、2020年までに10万人規模で輩出することを目指し、知識面から育成を支援する活動に取り組んでおります。

■エンジニア・・・

「ディープラーニングの理論を理解し、適切な手法を選択して実装する能力を持つ人材」と定義し、2020年までに約3万人の輩出を目指しています。

■CDLE (Community of Deep Learning Evangelists)・・・

JDLA 資格試験の合格者のみが参加できるオンラインをベースとしたコミュニティ。JDLA 事務局からの招待制でご参加いただけます。また、オンライン上だけではなく、協会主催の「合格者の会」やCDLEメンバー主催の勉強会など、オフラインの場でも合格者同士の交流ができます。

<合格者の声>

すでにG検定に合格し、知識を活用している方に感想をお聞きしました。

- ・ディープラーニングを取り入れたいという要望に対して、実施見込みをある程度目利きできるように。結果としてビジネスのスピードが上がった。
- ・専門家の話や、AI関連の記事が理解できるようになった。
- ・取引先でも自分の言葉で説明、質問に対する受け答えができるようになり、信頼度が高まった。
- ・合格者コミュニティのCDLEに参加することで、今まで以上にAIやディープラーニングに関する情報に触れることができるようになった。
- ・名刺に合格者ロゴを記載したところ、ディープラーニングの見識があることを認められた。

<2019年 第3回 G検定 (ジェネラリスト検定) 開催概要>

名称	JDLA Deep Learning for GENERAL 2019 #3
概要	ディープラーニングを事業に活かすための知識を有しているかを検定する
受験資格	なし
試験概要	120分、小問226問の知識問題(多肢選択式)、オンライン実施(自宅受験)
出題問題	シラバス(https://www.jdla.org/business/certificate/?id=certificate_No03)より出題(推薦図書あり)
受験料	一般12,000円(税別)、学生5,000円(税別)
試験日	2019年11月9日(土)13:00より120分間(実施済み)

<日本ディープラーニング協会について>

日本ディープラーニング協会は、ディープラーニングを事業の核とする企業を中心となり、ディープラーニング技術を日本の産業競争力につなげていこうという意図のもとに設立されました。ディープラーニングを事業の核とする企業および有識者が中心となって、産業活用促進、人材育成、公的機関や産業への提言、国際連携、社会との対話 など、産業の健全な発展のために必要な活動を行っています。

設立日 : 2017年6月1日

所在地 : 〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目1番1号 住友不動産御成門タワー9F

理事長 : 松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 教授

ホームページ : <https://www.jdla.org>